

かなん タウンミーティング 2012
第 2 部 意見交換会 議事録(要旨)

河内地域

第 2 部 意見交換会 (○住民の発言 ●行政の発言)

- ・色々な子育て施策に取り組んでいただき嬉しく思う。中学校給食も長い願いが実現する。しかし、来年から町民プールに行けなくなることは、どのような方法を考えておられるのか。また、少子化は国の仕組み、制度を変えなければ町だけ頑張っても、子どもは増えない。
- ・さくら坂では、高齢者の方が不便で出て行かれたりし、住み続けられるか心配。ふれあいの湯は守っていただき、高齢者の方が出かける楽しみ、生きがいを持てるような施策を考えてほしい。
- ・議会の傍聴にしているが、事前に無線で周知するなど開かれた議会にしてほしい。
- ・プールは昭和 37 年建設で老朽化し、給食センターに利用するため廃止する。現在、かなんぴあの温水プールを、8 月の月曜日に一般の方に開放できないか検討している。
- ・プールは老朽化し、造り替えの時期に来ている。どの程度の利用ならやめるのかは、非常に難しい。ふれあいの湯も、残す、やめるという両論がある。町外の人やごく決まった方のために税金が使われているという批判もあり、どの施設についても、このようなことを考えていく必要がある。
- ・給食センターはプールの位置に建てるのが一番良いと判断した。プールの代替については、温水プールなどいい方法がないか議論を進めている。
- ・少子化は確かに国を挙げてやらなければならない。今後、急激に子どもは減少し、産業の衰退その他色々なことに影響する。本町はそうならないように頑張っていきたい。
- ・議会の件は、議会の努力の 1 つ。行政がとやかくいうことではないので、お伝えしたい。
- ・1 期の 4 年間で何か成果があったのか。
- ・ここ数年、前年同月と比べ人口が 150 人ぐらい減り、目標の 18,000 人どころか、15,000 人になろうとしている。人口対策の何らかの手を打ったのか。また、このミーティングをどのように認識し、対策を打ってきたのか。
- ・人口減の事情の大半は、利便性にあるのではないかと。町全体の利便性について、どのようなビジョンを持っているのか。
- ・介護保険料は、なぜこんなに高くなったのか、理由を聞きたい。合わせて、保険

料が一番高い所、安い所を金額とあわせて説明いただきたい。

- ・貯金を減らさず、借金を減らした。また、以前のような不正のない、法令順守でやっている。不便を穴埋めするべく、よそにないものを作れば住民の負担になる。私は何年も先を読み、先送りもしないのが、モットー。
- ・介護保険は市町村単位の仕組みゆえ、高齢者が増えると当然高くなり、支える人が増えれば下がる。高齢者福祉をあまり充実すると、若い人は負担増で出て行き、高齢者の負担となるので、ご理解をいただきたい。
- ・利便性はおっしゃるとおり。大阪で高速道路、鉄道がない3つの中では、河南町は減少が緩やか。サービスと負担ということを踏まえて、先のことを考えていきたい。
- ・旧河内小学校の跡地のことを町から聞かれているが、地区としても大変難しい。町の方からも、よいご指導、知恵をいただきたいと思う。
- ・さくら坂から中方面、309号へ下る道が実現すれば便利だと思うが、その話ほどのくらい進んでいるのか。
- ・かつらぎ自然の家を3月末に廃止。その敷地に下河内共有地、河内村、個人の方の土地があるが、個人の土地は実質的に地区で管理しているとのことゆえ、地区とご相談をさせていただいている。町として、地区と話をする中で、方向性を見出していきたい。
- ・廃止により普通財産となっている。今後、どういう形にすればよいか、教育委員会ともども地区と協議をさせていただきたい。
- ・現在、中・馬谷地内で農地の面整備の計画があり、これから方向性を決定しようという状況ですが、ご指摘の道路は、それと合わせて検討したいと考えている。
- ・持尾の山の開発のため、今年6月～10月にかけて、砂や石を削る音で大変な思いをした。相談しても基準値内と言われ納得ができないし、景観が損なわれさびしく思う。経済優先でなく、山の開発は規制できないものか。
- ・個人病院で診療と処方が一度で済む所と別の所があり、同じ診療内容でも前者の方が安いのが気になる。また、ジェネリック医療品を受け入れてもらえない所があるようで、相談にも応じていただけない所があった。
- ・さくら坂から東側の山で、夏場岩の掘削で砂ぼこりや騒音があったが、測定では基準内であった。基準内ではあっても、引き続き指導に努めていきたい。現在、土砂の埋め立てを規制する法律はないが、施行方法等については、府と協議し適正な指導に努めていきたい。宅地造成や隣地開発は、法の許可のもと行われているため、規制できない。
- ・町ではジェネリックの普及啓発を行っている。新薬ばかり使用する医療機関があるのお話ですが、医療機関に問合せを行い、現状の把握等を行っていきたい。
- ・よく市内などに演奏に行く。平日は終バスが10時20分ゆえなんとか乗れるが、

土日は8時50分と早い。喜志から大宝へ歩いて帰る際、芸大から東のあたりに歩道がなく危ない思いをする。その部分の歩道がつかないか。

- ・交通のアンケートでも同じような意見をいただいた。現在、さくら坂・鈴美台の皆さんが自主的にバスに取り組もうと、10月に実験バスを走らせ、その結果を踏まえてこれから取り組みを進めていく。ぜひ協働でやっていきたいと考えており、ご協力をお願いしたい。
- ・ご指摘のように、太子南交差点から芸大に向けて歩道がない。府道ゆえ以前から大阪府に要望しているが、今後とも粘り強く要望していきたい。
- ・今日きていない方は、本日の資料を見る機会がないのかどうか。また、事前に資料に目を通すことができれば、質問も考えて望むことができると思うが、HPへの掲載、全戸配布なり検討してほしい。
 - ・道を整備しても不審者からの安全にはならない、スクールバスを走らせていただけないか。青崩からのルートで一緒に乗せてもらえばよいのではないか。
 - ・子どもが生まれ出生届を出す際に、役場とかなんぴあを結構往復したが、分けている理由がよくわからない。
 - ・昔、チャイルドシートの助成があったが、なくなった理由は。ペットの助成金がなくなった理由も教えてほしい。
 - ・高齢者へのおむつ代助成があるが、子どものおむつやミルク代の助成はできないのか。
- ・事前の資料配布については、もっともな意見。HPなどを今後活用したい。
 - ・かなんぴあと役場の件については、機構改革として町長が先ほど説明したように今は役場に一本化し、改善済みとなっている。
- ・現在、青崩・上河内、持尾の3地区でスクールバスを運行し、さくら坂地区は自転車通学で帰りはかなりきつく、休憩しながら帰っている。バス通学の所は5km以上あり、どこで線を引くか。さくら坂は3~4kmで、30分以内で帰れる。3通学に30分以上かかると疲れるということで、現在線を引いているので、ご理解を賜りたい。
- ・機構改革の補足ですが、平成22年の8月度に大きな機構改革を行い、かなんぴあで事務していたものを引き上げた。子どもの定期検診や予防接種など一部はかなんぴあに残っているが、手続き等はすべて1階で済むようになった。
 - ・以前、道路交通法の改正もありチャイルドシートの普及のため、貸与、その後補助をしていた。当時、高価であったので、一部お手伝いのため補助していた。その後、価格も下がり、その段階である程度普及したということや衛生面も考慮して、廃止の判断をさせていただいた。
- ・犬猫の去勢の補助は、昨年で廃止した。理由は、飼い方のマナーの浸透が1つ。厳しい財政状況の中で取りやめさせていただいたのが1つ。

- ・老人の方のおむつ代助成は、所得や介護認定区分に基づき支援をしている。子どもの支援については、子どもの医療費や妊婦の定期健診への助成拡充など色々な施策を行っており、全体としてどこまで出来るかということも考えていかなければならない。ご理解をいただきたい。
- ・ふれあいの湯については、今年6月に約1,500名の署名をもって町にお願いがあった。私も健康に活かしている。ぜひ存続をお願いしたい。
- ・かなり老朽化し、補修費が相当必要。行革の時期で、議会とも相談し、風呂を閉じる前提でコナミと契約した。その後、要望もいただいているが賛否両論ある。予算を取って、風呂を含め施設全体として使い方や費用などを算出しており、その結果を議会や皆さんにお示しし、今後の方針を決めたい。
- ・古い施設だから廃止するとお聞きしている。施設は急に古くなるわけではないので、納得のいく説明をいただきたい。
- ・施設を建ててから壊すまでのライフサイクルコストを見通して、運営をするべきで、見通せないのなら造るべきではなかった。ただ、造ったのはいい時代、20年後を見通せていたわけではない。前の轍を踏まないよう、10年、15年スパンで予測もたてて、相談したい。
- ・改善センターもかなり古い。古い施設をトータルで調査し、よい方向にまとめるような改善をする具体的なお考えは。
- ・仰せのとおり。補修して使えるか、新しく作った場合はどうかという試算もしたい。3施設の検討に着手しており、鋭意検討していきたい。